

## 共に歩む教会を目指して

中野バプテスト教会  
青木 竜二

バプテスト教会の主要な特徴のひとつに、信仰者による契約共同体があります。バプテスト教会は、各個人が自覚的に信仰告白をし、それに基づいてバプテスマを受けた信仰者の集まりであっただけではなく、教会契約という概念を大切に、一つの契約共同体としての教会を形成していきました。教会員全員は契約のパートナーとして信仰者としての自覚と責任を持ち、集まった。実際、現在においても契約共同体としての教会観は受け継がれています。日本バプテスト連盟の諸教会では、新規の教会員に交付する教会員手帳や新生讃美歌に『教会の約束』と題されている文言が掲載されています。その原型はバプテスト教会に受け継がれて来た「教会契約」です。

バプテスト教会にとって教会契約とは、新生者の契約共同体としての教会を形成するために、また教会員資格（入会資格）という概念に必要不可欠なものです。神の無条件の恵みの契約によって救われた一人一人が、自ら自覚的に信仰を告白し、バプテスマを受け、新生された者となった。その新生者による共同体としての教会を形成するにあたり、一人一人が神と、また教会員同士と条件付による契約を結んだ。これが教会契約です。

初期イギリスバプテストは、聖書から教会契約の根拠を見出していきました。教会契約とはキリストの新しい契約、即ち、十字架による一方的な贖罪の恵みを前提としたものであり、信徒自らが主体的に神と教会員相互に結んだ契約だった。そして、神との真実な関係を続けるための型を教会契約の採用の中に見出し、キリストの新しい契約に忠実に生きていく新生者として、神への忠誠を実現する最善の方法として考えました。

聖書の中から、真の教会の在り方とは、キリストの「新しい契約にあずかる共同体」、主との「契約に生きる交わり」だということに気付いた初期イギリスバプテストは、新生者の教会員資格（入会資格）というバプテスト教会における重要な概念を見出し、そして、教会契約によって、キリスト者の成長のための聖書的基準を明らかにし、訓練された教会員を作り出し、バプテストの教会員としての高い理想を維持していきました。

初期イギリスバプテストの教会契約は、「共に歩む」という言葉を使用し教会員が新生者の契約共同体の一員あるということの自覚とその確認を目的とし、そして、相互牧会、礼拝厳守、信徒訓練といった信徒の主体的な信仰生活の実践に関することを記しました。教会契約には条件付の言葉が使わ

れていますが、律法主義的な意味での契約理解ではなく、神の恵みによって救われた人々が、不従順で、不信仰な状態におちいり、そこにとどまり続けるようなことがないように、人間の側からの誠実な約束を、神及び信徒相互において主体的に喜んで結ぶものでした。教会契約は、一つでも違反したら、即座に罰則規定があるというようなものではなく、常に信仰者の原点に立ち返り、「悔い改めつづけるという決意」を互いに取り交わしたというもののなのです。

今日、各個教会がどこまで教会契約について理解し、関心をもっているのでしょうか。現在ある「教会の約束」の原型は、バプテストに受け継がれた教会契約です。信仰告白は、教会契約を作るために不可欠な内容であり、契約を作る神学的前提です。そのため、信仰告白と教会契約は切り離せないものです。しかし、信仰告白だけを重要視し、教会契約に関心がなくなると、新生者の契約共同体という大切な概念も失ってしまいます。また、教会契約を教会員相互の横の関係だけで見しまうと、教会が世俗の任意団体と変わらなくなり、教会契約が律法的なものになってしまいます。

バプテスト教会の大切な概念として、相互牧会（万人祭司）、会衆主義、各個教会主義、協力伝道などがありますが、新生者の契約共同体という土台がないと、これらの本来の意味を失ってしまいます。契約共同体として「共に歩む」ために、相互牧会の概念があり、総会をはじめとする会衆主義の概念も契約共同体という理解がないと、世俗的なものになり総会などが役員や教会員同士に対する批判の場となってしまいます。

初期イギリスバプテストが大切にしていた教会契約の概念を確認しバプテストの群れとして、今一度、この教会契約の意義というものを知っていく必要があるのではないのでしょうか。中野バプテスト教会では、信徒会などで、バプテスト教会について学び、考える機会を持っています。その中で教会契約、契約共同体についても共に考え、学びました。まだまだ理解を深めていかなければなりませんが、バプテスト教会が大切にしてきた教会契約とは「共に歩む」こと、そのことをそれぞれの教会員が確認することができました。また、「共に歩む」指針として、教会に使命を作り、それに沿って歩み始めました。今後は、教会独自の教会の約束（教会契約）を作成していきたいと考えています。